

日立市天気相談所

金町だよりでは、第 20 号（2015 年 9 月 1 日）で、茨城県内の気象庁の施設機関をご紹介しました。今回は、気象庁の機関ではないものの長年に亘り気象観測や予報を実施している、日立市天気相談所をご紹介します。

日立市天気相談所（以下、天相と記述します）は、日立鉱山（現：JX 金属株式会社）が銅の製錬に伴う煙害対策のため 1909 年から行っていた気象観測を引き継ぐべく、1952 年に日立市の組織として設置されました。業務を行っているのは日立市の職員で生活環境部に所属しており、今年完成した市役所新庁舎の中に事務室（作業室）が、市役所敷地内を含む 7 カ所に気象観測機器（露場）が配置されています。

天相は 1953 年 5 月 27 日に予報業務許可第 2 号を取得し、日立市を対象とした一般向け天気予報を開始しました。同日に第 1 号、第 3 号を取得した各機関は既に業務を廃止しているため、天相は、国内で最も歴史の長い気象事業者です。また現在、自治体として予報業務許可を取得しているのは、日立市以外では広島市（江波山気象館）のみです。

天相では毎日 9 時、12 時（平日には 15 時）に定時観測を行い、9 時と 16 時（休日は 9 時と 12 時）に日立市の天気予報と気象解説を発表して、いずれもホームページに掲載するほか、防災行政無線により市内の各戸に直接予報を伝えたり、随時、電話や電子メールでの問い合わせに対応したりしています。また、過去 65 年にも及ぶ観測結果の集計 / 公表や特異な気象現象の解説、出前講座なども行っています。天気予報や気象解説は気象予報士の資格を持つ職員が行い、気象庁作成の数値予報や天気予報ガイダンス、アメダス実況、水戸地方気象台発表の天気予報等と共に、自前の観測結果を活用しています。



問い合わせに対応中の職員

日立市の防災対応のための情報提供も、天相の重要な業務です。日立市では災害のレベルにより災害対策本部や災害情報連絡会議を設置しますが、天相は「気象班」としてこれらの会議に参画し、気象実況や予測を提供して解説を行い、日立市の防災対策に大きな貢献をしています。

水戸地方気象台とは、天相の業務開始時から連携を行っています。毎朝 9 時に気象観測の結果と目視による波高を気象台に電話で伝える一方、気象台の台風説明会資料を受け取って情報作成に活用したり、気象台で開催される洪水予報説明会や防災気象連絡会に出席して気象業務・気象情報についての新たな知識を得るなどを行っています。

天相のアドレスは「<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso/>」です。「季節のたより」など、日立市以外にお住まいの方にも楽しめる情報がありますので、是非一度、訪問してみてください。